

別記様式（第3条関係）

会 議 録 要 約（1）

会議の名称	令和4年度第2回男女共同参画審議会	
開催日時	令和5年2月6日（月） （開会）午後2時00分・（閉会）午後4時00分	
開催場所	市役所5階 全員協議会室	
主宰者の氏名	企画財政部人権・男女共同参画課	
議長の氏名		
出席者氏名 （委員）	井口委員、諏訪委員、奈良委員、伊藤委員、飯野委員、 大隅委員、臼田委員、小川委員、長谷川委員、中野委員、 金田委員	
欠席者氏名 （委員）	井川委員	
説明員氏名		
事務局職員 職名及び氏名	新川課長、朝香主幹、野本主任	
会 議 事 項	議 題	
	議題	（1）桶川市第四次男女共同参画基本計画の進捗状況について （2）桶川市第五次男女共同参画基本計画について
	決定事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度版桶川市男女共同参画年次報告書について、事務局案のとおり了承。 ・桶川市第五次男女共同参画基本計画の将来像について、事務局案のとおり了承。 ・3つの基本目標について、2，3については事務局案のとおり了承。1については男女共同参画づくり⇒男女共同参画社会づくりに修正。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・令和4年度版桶川市男女共同参画年次報告書【資料1】 ・桶川市第五次男女共同参画基本計画策定スケジュール【資料2】 ・桶川市第五次男女共同参画基本計画の位置づけ・背景・期間【資料3】 ・桶川市第五次男女共同参画に関する市民意識調査報告（概要）【資料4】 ・桶川市第五次男女共同参画基本計画の将来像と基本目標の改正案【資料5】 ・諮問にあたり審議いただく部分【参考資料1】 ・計画の位置づけ・策定体制【参考資料2】 ・体系図（現行計画）【参考資料3】 ・体系図（県計画）【参考資料4】 	

会 議 録 要 約 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	<p>1. 開会 事務局より、出席委員12名中11名のため、桶川市男女共同参画推進条例第31条第2項の規定により会議の成立を報告。</p> <p>2. あいさつ 会長あいさつ</p> <p>3. 議題 (1) 桶川市第四次男女共同参画基本計画の進捗状況について、資料1を基に事務局より説明</p>
事務局	<p>－説 明－</p>
会長	<p>ただいまの説明について、何か質問ございますか。</p>
委員	<p>2ページの合計特殊出生率について、H29だけ1.31に上がっていますが、理由等はわかりますか。</p>
事務局	<p>増加の理由について、事務局では把握できておりません。ただ、桶川市では母数が少ないため、県や国に比べ変化が大きく出ている可能性もあります。</p>
委員	<p>3ページの審議会委員の女性比率で、女性委員がいない審議会がありますがどのようなものですか。</p>
事務局	<p>桶川市職員健康審査会や公務災害補償等審査会など、委員数が3人や5人など少なく、更に医師など、専門性が高いもの、また、桶川市国民保護協議会など元々の選出母体の役職により決まっているなど、女性を増やすことが難しいものもあります。</p>
事務局	<p>(2) 桶川市第五次男女共同参画基本計画の策定スケジュール等について、資料2、3、4を基に事務局より説明</p>
事務局	<p>－説 明－</p>
会長	<p>ここまでの説明について、何か質問ございますか。</p>
委員	<p>資料4について年代別の回答者の比率を教えてください。</p>
事務局	<p>10・20代は8.6%、30代は10.7%、40代は17.5、50代は21.1%、60代は16.7%、70代は14.9%、80代以上は9.7%、その他無回答が0.8%となっております。</p>
委員	<p>意識調査の回収数が前回よりも低くなっているが、低下の要因、督促等回収率を上げる手立ては行いましたか。</p>
事務局	<p>督促は行っておりません。今回から市のホームページのアンケート</p>

	<p>ート機能を使用し、行いましたが専用のフォームではないので使い勝手が悪かったのか、思うように効果が上がりませんでした。ハガキについて次回検討いたします。</p>
委員	<p>意識調査の15ページの設問27の市の施策について、「パートナーシップ制度」については、この認知度はもったいないなと、桶川は県内でもいち早く始めており、その後のPRについては。</p>
事務局	<p>制度開始時に広報で掲載し、令和3年度にLGBTQについての研修会を行ったほか、ホームページで周知を行っております。今回の結果を受けまして、周知方法についても検討の必要性を感じております。</p>
委員	<p>資料1をでも、市は様々な情報発信をしているが、市民にはなかなか届かない。女性の区長をお願いはしているが、現在2人しかいない。 市の中で改革をし、女性の管理職比率を上げて、引っ張っていくような姿勢が必要なのではないかと。意見として申し上げます。</p>
事務局	<p>情報発信の方法や、女性の比率について、今後の施策の中で検討させていただきます。</p>
委員	<p>問9の育児休暇制度の質問に関連して意見します。 育児休業よりももっと大事なのは人口減少だと思います。 ハンガリーでは、2011年出生率が1.23だったものが、1.59まで上がった。なぜかというとな妊娠に際し税金が控除され4人目からは所得税がかからないとのこと。 桶川市でも市長がトップとなって、結婚、出産できない環境を変えるような政策を。</p>
事務局	<p>国の男女共同参画白書でも、人口の減少は大きな課題としており、当市においても同様な認識でおります。</p>
会長	<p>質問がないようですので、後半部分について事務局より説明をお願いします。</p>
	<p>(2) 将来像、基本目標について、資料5、参考資料3・4を基に事務局より説明</p>
事務局	<p>－説 明－</p>
会長	<p>ただいまの説明について、何か質問ございますか。</p>
委員	<p>3つの基本目標の中の一つ目「あらゆる分野における男女共同参画づくり」の男女共同参画づくりというフレーズがしっかりこないような気がします。</p>
会長	<p>事務局の方で何かありますか。</p>
事務局	<p>元々は、語尾に「づくり」はない状態でしたが、現行計画でも「づくり」で統一されているので、追加をしたところでございま</p>

	<p>す。 意識づくりや社会づくりとすることも考えられるので、委員の皆様のご意見をいただければと思います。</p>
会長	<p>皆様はこの部分について意見はございますか。</p>
委員	<p>私は「づくり」はあった方がいいと思います。現在は教育や啓発を進めていくプロセスの段階なので「づくり」はあった方がいいと考えます。</p>
委員	<p>参画は作るものではないので、参画社会を入れた方がいい。</p>
委員	<p>社会としてしまうと大きすぎてしまうのではないか。</p>
委員	<p>将来像で、「おけがわ」としているので問題ないのではないか。</p>
委員	<p>目標なので、「目指す」とか「づくり」とした方がいいと思う。</p>
会長	<p>「あらゆる分野における男女共同参画社会づくり」とすることでよろしいでしょうか。</p>
	<p>－異議なし－</p>
事務局	<p>もう一点、将来像の部分の「男女(ひと)」を「一人ひとり」としている部分も事務局案では変更しているのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>元々の案を作ったときにいたものとして意見を申し上げます。男女共同参画を入れ込むために「男女(ひと)」としたが「一人ひとり」でよいと思う。</p>
会長	<p>他に意見はございますか。ないようですので事務局案のとおりでよろしいですか。</p>
	<p>－異議なし－</p>
会長	<p>質問がないようですので、進行を事務局に戻します。 円滑な議事運営にご協力いただきありがとうございました。</p>
司会	<p>臼田会長ありがとうございました。</p>
事務局	<p>5. 事務連絡 次回の審議会の開催日については、5月31日を予定しております。また、改めて皆様に通知いたします。</p>
司会	<p>それでは閉会にあたりまして、副会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
副会長	<p>6. 閉会 閉会のあいさつ</p>